



2022年3月期

第2四半期決算説明資料

2021年11月8日

TOWA株式会社

主な説明内容

- 1. 2022年3月期 上期実績**
- 2. 2022年3月期 通期予想**
- 3. TOPICS**

主な説明内容

- 1. 2022年3月期 上期実績**
2. 2022年3月期 通期予想
3. TOPICS

2022年3月期 上期サマリー

過去最高

売上高
243.3億円

営業利益
56.7億円

経常利益
57.0億円

当期純利益
41.4億円

受注高
389.2億円

- ▶ **収益性が大幅に改善し、営業利益は前期比5.2倍の56.7億円となる。**

売上の増加や工場稼働率の改善によるコスト削減効果などにより、半導体モールドディング装置やシンギュレーション装置の利益率が改善。

- ▶ **上期の受注高は過去最高の389.2億円。四半期受注高も過去最高を更新。**

第2四半期の受注高は205.5億円となり、過去最高を記録した第1四半期の183.6億円を上回る。

2022年3月期 上期連結業績結果（前年比）

（単位：億円）

	2021/3期 上期実績	2022/3期 上期実績	増減額	前年比	2022/3期 上期業績予想 (ご参考)	予想比
売上高	128.7	243.3	+ 114.6	+ 89.1%	240.0	+ 1.4%
営業利益 (営業利益率)	10.9 (8.5%)	56.7 (23.3%)	+ 45.8	5.2倍	53.0 (22.1%)	+ 7.1%
経常利益	12.3	57.0	+ 44.7	4.6倍	53.0	+ 7.7%
当期純利益	8.9	41.4	+ 32.5	4.7倍	37.0	+ 12.0%

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

2022年3月期 上期セグメント別売上高（前年比）

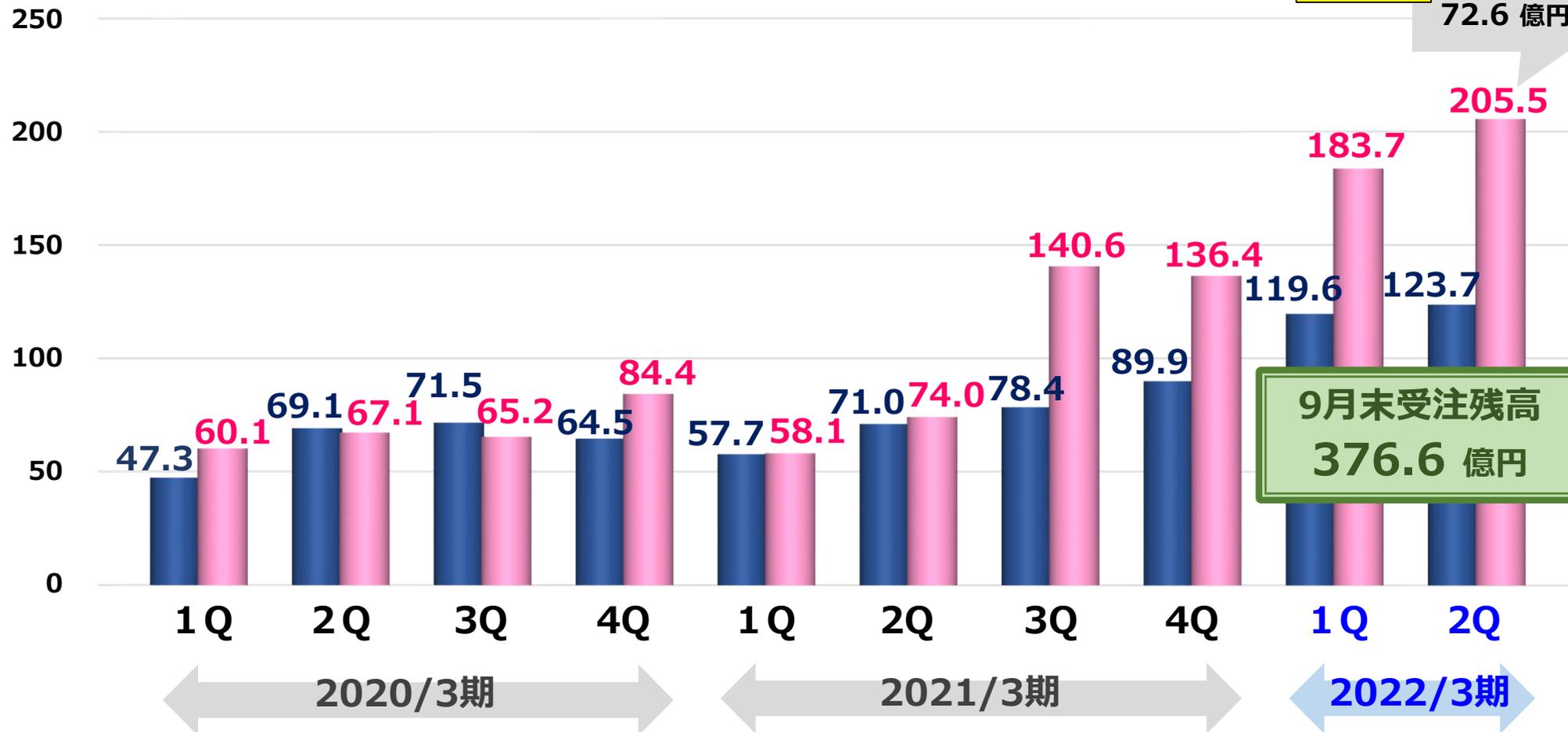
（単位：億円）

	2021/3期 上期実績	2022/3期 上期実績	増減額	前年比
売上高	128.7	243.3	+ 114.6	+ 89.1%
半導体事業	87.4	191.9	+ 104.5	2.2倍
化成品事業	8.1	9.1	+ 1.0	+ 11.9%
新事業	26.2	31.1	+ 4.9	+ 18.6%
レーザ事業	7.0	11.2	+ 4.2	+ 60.0%

受注・売上高の推移

(単位：億円)

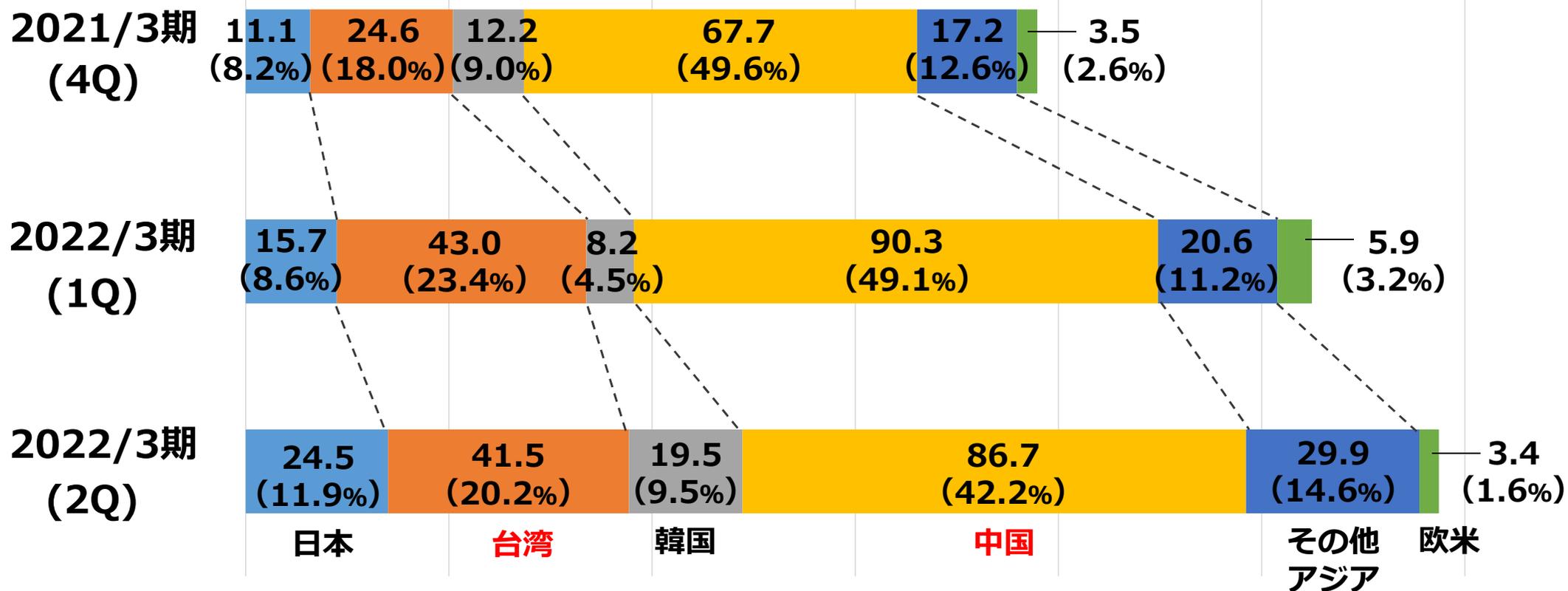
■ 売上高 ■ 受注高



地域別受注構成比率推移（仕向地ベース）

(単位：億円)

0 35 70 105 140 175 210



地域別売上構成比率推移（仕向地ベース）

(単位：億円)

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120 130

2021/3期
(4Q)



2022/3期
(1Q)



2022/3期
(2Q)



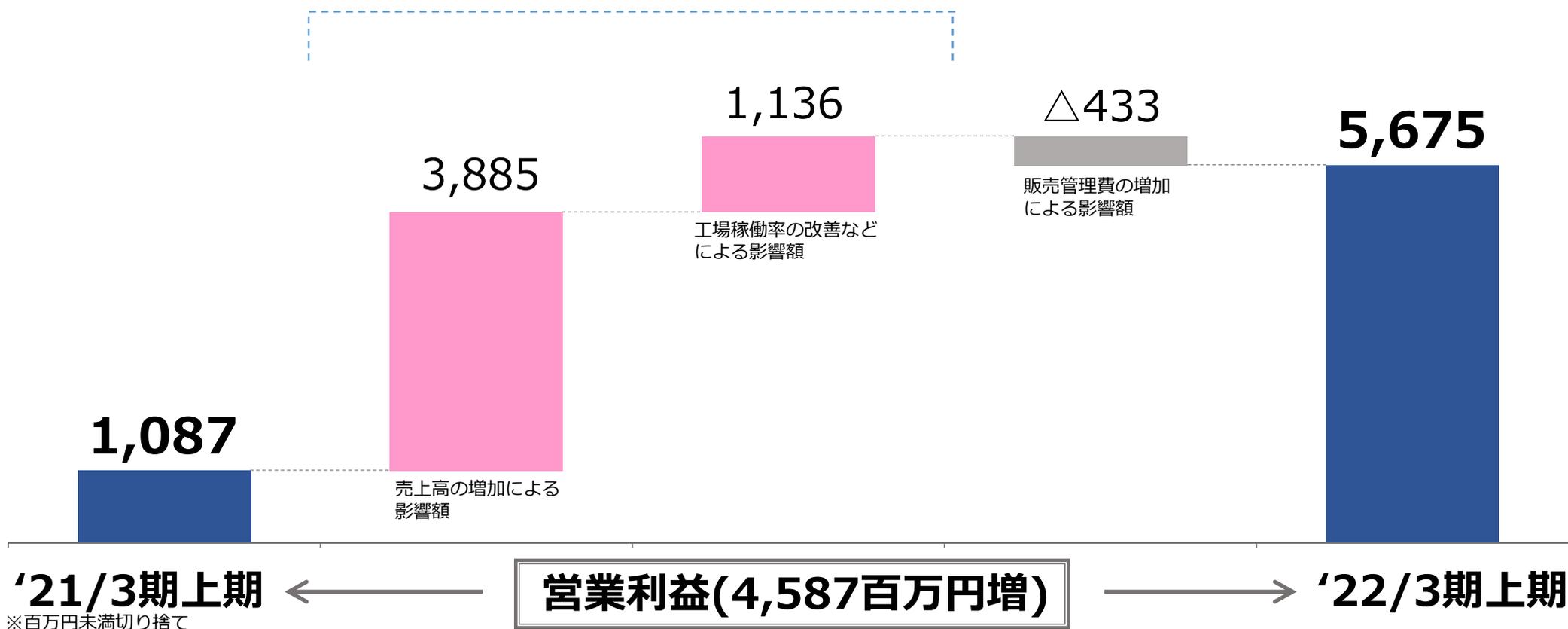
2022年3月期上期 連結営業利益 増減要因分析 (対前期上期)

(単位：百万円)

売上 12,869

売上 24,332

売上総利益への影響額 +5,021



主な説明内容

1. 2022年3月期 上期実績
2. 2022年3月期 通期予想
3. TOPICS

2022年3月期 通期 連結業績予想（修正）

（単位：億円）

	2022/3期 上期実績	2022/3期 下期修正予想 (11/8公表)	2022/3期 通期修正予想 (11/8公表)	2021/3期 通期実績	前年比
売上高	243.3	256.7	500.0	297.0	+203.0 (+68.3%)
営業利益	56.7 (23.3%)	58.3 (22.7%)	115.0 (23.0%)	36.1 (12.2%)	+78.9 (3.2倍)
経常利益	57.0	58.0	115.0	38.1	+76.9 (3.0倍)
当期純利益	41.4	40.6	82.0	26.6	+55.4 (3.1倍)

※当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

2022年3月期 セグメント別売上高計画（修正）

（単位：億円）

	2022/3期 上期実績	2022/3期 下期修正予想 (11/8公表)	2022/3期 通期修正予想 (11/8公表)	2021/3期 通期実績	前年比
売上高	243.3	256.7	500.0	297.0	+203.0 (+68.3%)
半導体事業	191.9	203.7	395.6	211.1	+184.5 (+87.4%)
化成品事業	9.1	9.0	18.1	18.1	±0 (-)
新事業	31.1	33.0	64.1	54.2	+9.9 (+18.3%)
レーザ事業	11.2	11.0	22.2	13.6	+8.6 (+63.2%)

設備投資等の状況と配当計画

設備投資の状況

2021/3期 実績	2022/3期 上期実績	2022/3期 通期計画
34.5億円	17.8億円	58.1億円

減価償却費の状況

2021/3期 実績	2022/3期 上期実績	2022/3期 通期計画
16.0億円	8.9億円	18.7億円

研究開発費の状況

2021/3期 実績	2022/3期 上期実績	2022/3期 通期計画
7.4億円	2.1億円	8.4億円

配当計画

2021/3期 実績	期初計画	修正予想 (11/8公表)
16.0円	23.0円	23.0円

※配当方針「安定・継続配当」に基づき、23.0円に変更なし。
なお、中間配当は見送りとさせていただきます。

主な説明内容

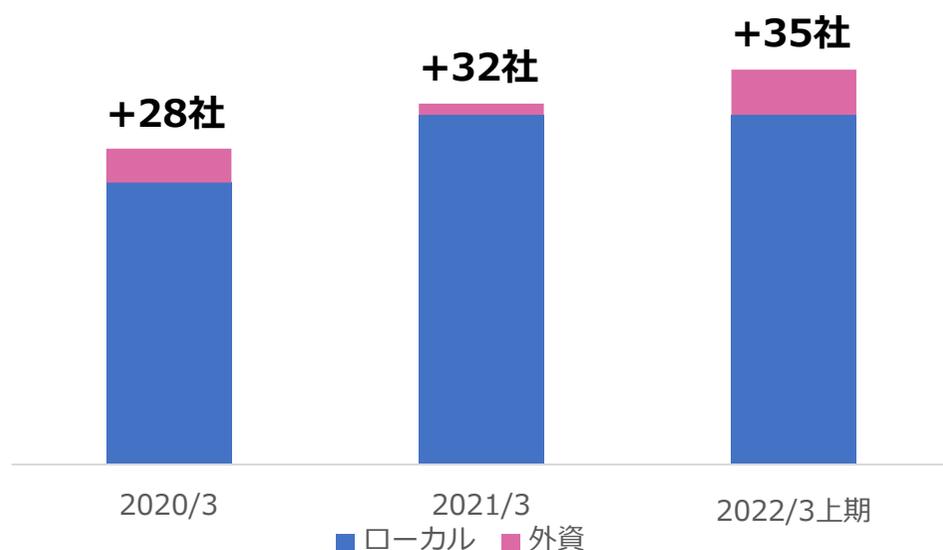
1. 2022年3月期 上期実績
2. 2022年3月期 通期予想
- 3. TOPICS**

拡大する中国地域における取り組み

中国における事業活動強化に向け、開発拠点を設立!!

中国地域新規顧客数

直近3年間で
95社増加



直近3年顧客数増加地域TOP3
1.江蘇省 2.広東省 3.浙江省

海外初の開発拠点（新会社）を設立

中国における事業活動をさらに強化するため、ラボ機能を備えた開発拠点を中国蘇州に設立いたしました。

● 会社概要

- ・ 社名： 東和半導体設備研究開発（蘇州）有限公司
- ・ 従業員数： 約50名
- ・ 設立日： 2021年9月26日



オンラインでの調印式の様子

各拠点の生産状況

東南アジアコロナ禍や中国電力不足の影響を最小限に抑え、通常通り生産活動を継続中

- マレーシア工場では、新型コロナウイルス感染拡大によるロックダウンを受けたが、生産部門の出勤を優先し、軽微な影響に留めた。
- 中国蘇州工場では、中国での電力不足により、電力制限を受けたが、自家発電設備や他拠点での代替生産により、軽微な影響に留めた。
- MIPプロジェクトによる、必要部品の先行手配などで部材調達リスクを低減。

MIPプロジェクト

(Minimal Inventory & Period)

- ▶ リードタイム短縮
- ▶ 在庫適正化（生産方式見直し）
- ▶ 先行生産 ⇔ 受注後生産の切替



マレーシア工場稼働の様子



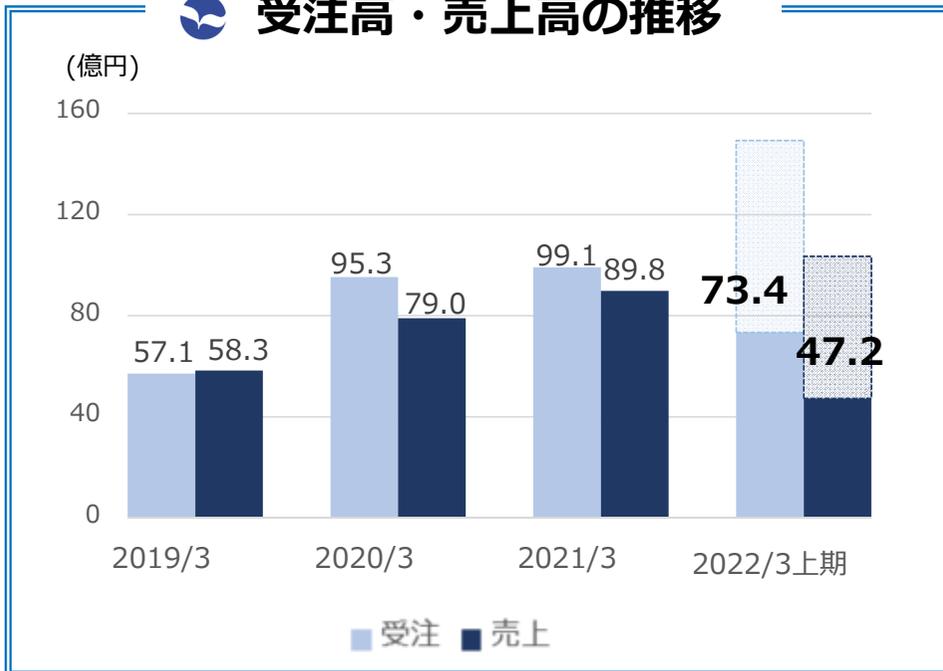
中国蘇州工場稼働の様子

半導体製造装置事業

コンプレッション

- 積層化やモジュール化が進む半導体メモリや5G関連デバイスなど最先端パッケージ向けに堅調に推移。

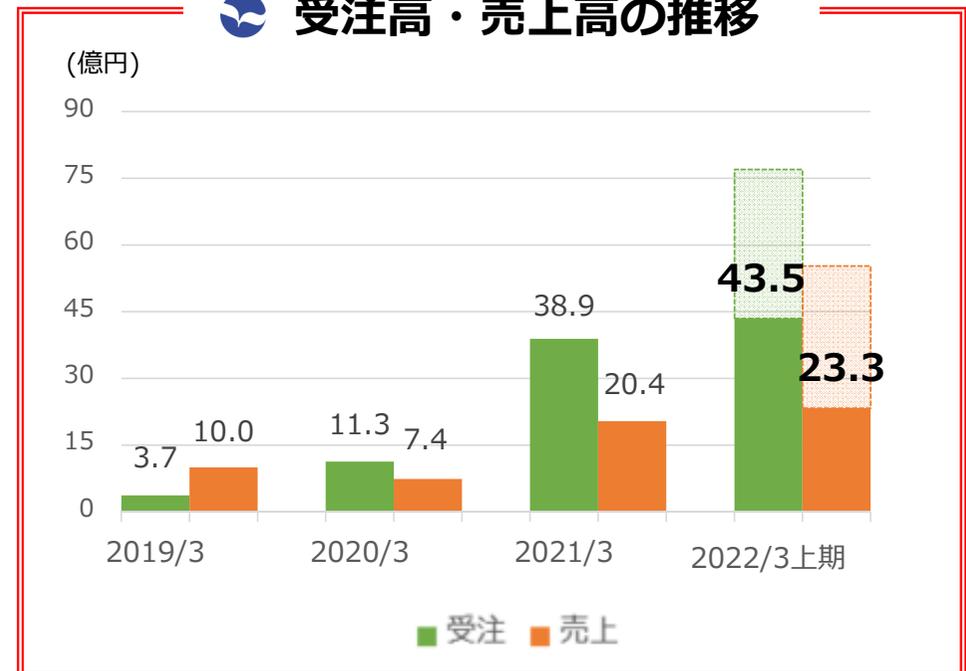
受注高・売上高の推移



シンギュレーション

- 手厚いアフターサービス体制やモールドイング装置の実績を高く評価いただき、新規顧客を獲得。

受注高・売上高の推移



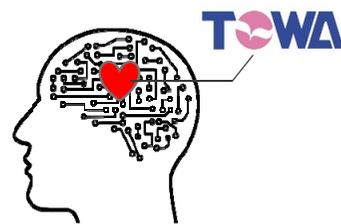
3次元パッケージとTOWA

様々な分野で使用される3次元パッケージにTOWAの技術が活用

5G



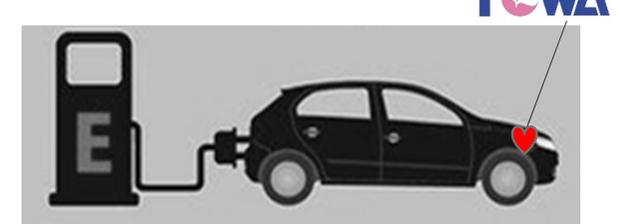
AI



サーバー

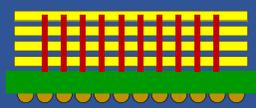


EV



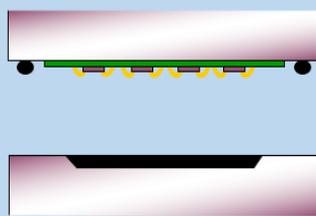
↑
トランスファ方式と比較し品質・環境・コスト面で優位!!

3次元
パッケージ例



圧縮方式

コンプレッション成形



樹脂流動
無

TOWAの独自のコンプレッション技術

- 樹脂が流れないためチップやワイヤへのダメージ無し (薄型、積層、モジュール化されたパッケージに最適)
- 樹脂使用効率100%(廃棄ゼロ)
- 大判化されたパッケージにも対応可能(コストダウン)

ESGの取組み（Environment）



脱炭素に向けた取組みを推進

- 中国蘇州工場、マレーシア工場のそれぞれで太陽光パネルの設置を決定。蘇州工場で年間約**1,020トン**、マレーシア工場で年間約**1,330トン**のCO2排出量を削減予定で、どちらの拠点も年間排出量を**約30%削減**できる見込み。
- 国内主要拠点で使用する全ての電力を再生可能エネルギーへ切り替え完了。年間約**4,000トン（年間排出量の約96%）**を削減できる見込み。
- その他の生産拠点においてもCO2削減に向けた取組みを検討中です。



中国蘇州工場



マレーシア工場



増築中の京都東事業所

ESGの取組み (Social)

環境負荷の少ない製品開発

当社は、1979年に樹脂の使用効率を高めるマルチプランジャー方式を開発し、樹脂の廃棄量を大幅に削減したほか、樹脂効率100%（廃棄量ゼロ）により、トランスファー装置に比べ

CO2排出量約70%削減を達成する独自のコンプレッション方式を開発するなど、創業時から環境への負荷が少ない製品開発を行っております。

また、現在は消費電力を抑えた製品の開発に向けても取り組んでいます。

デジタル化、デジタルトランスフォーメーション（DX）を支えるデータセンター、情報通信インフラの整備に伴う半導体への拡販を通じ、地球環境と世界の技術革新に貢献します。



PMC2030

人材育成・働き方改革

当社は、「社員=財産」と捉え、社員1人ひとりの健康と働きがいを第一に考え、重要な経営課題として捉えています。

主な取り組み

- ・通信教育やEラーニングの充実
- ・各種表彰制度
- ・産休・育休後の職場復帰支援
- ・クラブ活動や家族参加型行事
- ・時間単位休暇制度（2021年4月より）
- ・在宅勤務制度



<ご参考> 【TOWAとSDGs】

<https://www.towajapan.co.jp/jp/company/sdgs/>

ESGの取組み（Governance）

新市場区分「プライム市場」申請

当社は、2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所より、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果を受領し、「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認し、10月28日の取締役会において「プライム市場」を選択することを決定いたしました。



コーポレート・ガバナンスの強化

「プライム市場」選択に伴い、今後もより一層のコーポレート・ガバナンスの強化に努めます。

主な検討項目

スキルマトリックス作成

インセンティブ報酬導入

TCFDなど、気候変動に係る
リスク・収益機会等の開示

英文開示の充実

世界のモールドプロセスをTOWAに!!



TOWA 10年ビジョン

ものづくり企業の真価に挑む

《本資料に関するお問合せ》TOWA株式会社 企画部
〒601-8105 京都市南区上鳥羽上調子町5番地 Tel : 075-692-0251

本資料には当社グループの計画や方針、財務、技術、製品、サービス、業績等に係る将来予想に関する記述が含まれております。将来予想に関する記述は、あくまで当社グループが現時点において入手可能なデータや仮定、方法等に基づき、当社グループが判断したものであり、様々なリスクや不確定な要因を含んでおります。また、新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。したがって、本資料に含まれる将来に関する記述は、実際の結果とは大きく異なる可能性があることをあらかじめご了承願います。